

## eラーニング指向性と グループワーク指向性との 関連

早稲田大学大学院  
人間科学研究科  
富永 敦子

早稲田大学  
人間科学部  
高崎 亜希子

早稲田大学  
人間科学学術院  
向後 千春

1

## 本研究の概要



eラーニングに向いている学習者、  
向いていない学習者とは、  
どのような学習者なのか？



- 学習者のeラーニング指向性質問紙を  
作成・実施する
- eラーニングの好き嫌い、グループワークの  
好き嫌いとの関連を調べる

2

## 結果

- 5因子(緊張感・効率性・直接性・孤独感・  
柔軟性)を抽出した
- eラーニングを好まない人は、緊張感を  
失いがちである
- 大学生は、eラーニングの欠点である直接性  
の欠如や孤独感をさほど気にしない

3

## 方法

eラーニング指向性質問紙  
作成と実施



4

## 質問項目の作成

- eラーニング授業の講師経験者と受講経験者が作成
- ブレンド型授業の授業アンケート(自由記述)をもとに作成
- 大学生の感覚に近い文言になるように工夫

5

## 質問紙の内容

- 質問項目:24項目
- 回答方法:5件法
- フェイスシート:
  - eラーニングが好きか?
  - グループワークが好きか?

6

## 調査方法

- eラーニングシステムのアンケート機能
- 回答期間:12日間
- 対象:X大学の学生271人
  - 回答者209人(回答率77.1%)
  - 有効回答160人  
(男子98人 女子62人 平均年齢19.99歳)

7

## 結果および考察 — 質問項目の検討 —



8

## 項目分析

- G-P分析 全項目が5%水準で有意
- IT相関 全項目が5%水準で有意
- $\alpha$ 係数 0.851



不良項目はない

9

## 探索的因子分析(主因子法, バリマックス回転)

### 5因子(16項目)を抽出

- 第1因子 緊張感
- 第2因子 効率性
- 第3因子 直接性
- 第4因子 孤独感
- 第5因子 柔軟性

10

## 因子分析結果

- 第1因子 緊張感
- 第2因子 効率性
- 第3因子 直接性
- 第4因子 孤独感
- 第5因子 柔軟性

- eラーニングだと気が散って先生の話に集中できない
- eラーニングは授業を受けている気がしない
- eラーニングは緊張感がなくなり, だらだらしてしまう
- eラーニングは単調な感じがする
- eラーニングは臨場感に乏しい

11

## 因子分析結果

- 第1因子 緊張感
- 第2因子 効率性
- 第3因子 直接性
- 第4因子 孤独感
- 第5因子 柔軟性

- eラーニングのほうが効率よく学習できる
- 知識を習得するときはeラーニングのほうがよい
- eラーニングの授業は物足りない

12

## 因子分析結果

- 第1因子 緊張感
- 第2因子 効率性
- 第3因子 直接性
- 第4因子 孤独感
- 第5因子 柔軟性

- eラーニングは対面授業よりも先生に対して親近感がわく
- ディスカッションは対面授業のほうがやりやすい

13

## 因子分析結果

- 第1因子 緊張感
- 第2因子 効率性
- 第3因子 直接性
- 第4因子 孤独感
- 第5因子 柔軟性

- eラーニングは、友人に会えないので寂しい
- 一人でeラーニングの授業を受けるのは寂しい

14

## 因子分析結果

- 第1因子 緊張感
- 第2因子 効率性
- 第3因子 直接性
- 第4因子 孤独感
- 第5因子 柔軟性

- eラーニングだと自分の都合に合わせて学習できる
- eラーニングの場合、自分が知っているところは飛ばせるのでよい
- eラーニングは時間や場所に拘束されないとよい

15

## 因子負荷量

	因子1 緊張感	因子2 効率性	因子3 直接性	因子4 孤独感	因子5 柔軟性
eラーニングだと気が散って先生の話集中できない	.73	-.27	-.14	-.05	.07
eラーニングは授業を受けている気がしない	.72	-.19	.19	.00	.22
eラーニングのほうが効率よく学習できる	-.24	.73	-.07	.00	-.28
知識を習得するときはeラーニングのほうがよい	-.18	.57	-.15	.16	-.01
eラーニングは対面授業よりも先生に対して親近感がわく	-.08	.29	-.67	.07	-.11
ディスカッションは対面授業のほうがやりやすい	.19	-.03	.64	-.15	-.12
eラーニングは友人に会えないので寂しい	.12	-.19	.19	-.87	-.06
一人でeラーニングの授業を受けるのは寂しい	.36	-.03	.06	-.45	.24
eラーニングだと自分の都合に合わせて学習できる	-.24	-.07	.06	-.02	-.51
eラーニングの場合、自分が知っているところは飛ばせるのでよい	.20	.18	-.10	-.01	-.51
累積寄与率 (%)	16.51	26.27	34.09	41.79	49.08

16

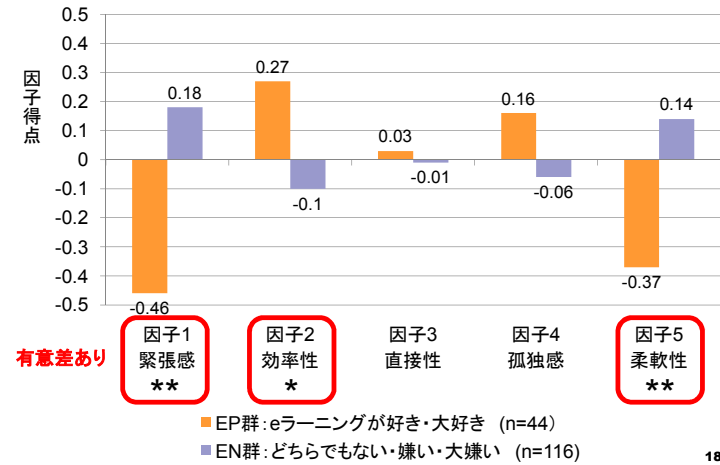
# 結果および考察

## -フェイスシートの項目との関連-



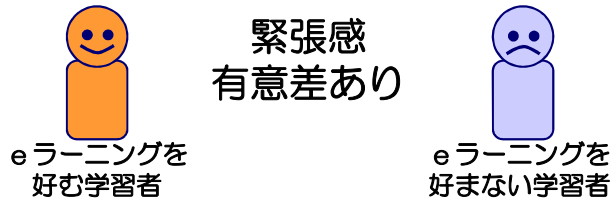
17

## eラーニングの好き嫌い別 因子得点の平均



18

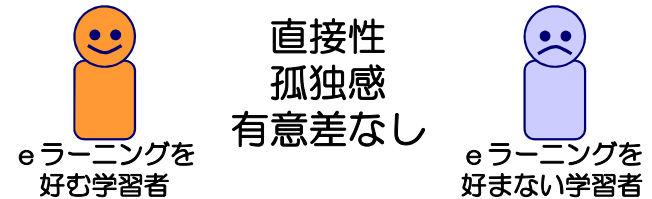
## 授業に対する緊張感



- eラーニングを好む人は、緊張感を失わずに受講できる
- eラーニングを好まない人は、緊張感を失いがち → ドロップアウトの要因

19

## 直接性・孤独感



- 直接性の欠如や孤独感は、eラーニングの欠点
- ITに慣れている大学生は、さほど気にしない

20

### eラーニングを活用してもらうには？

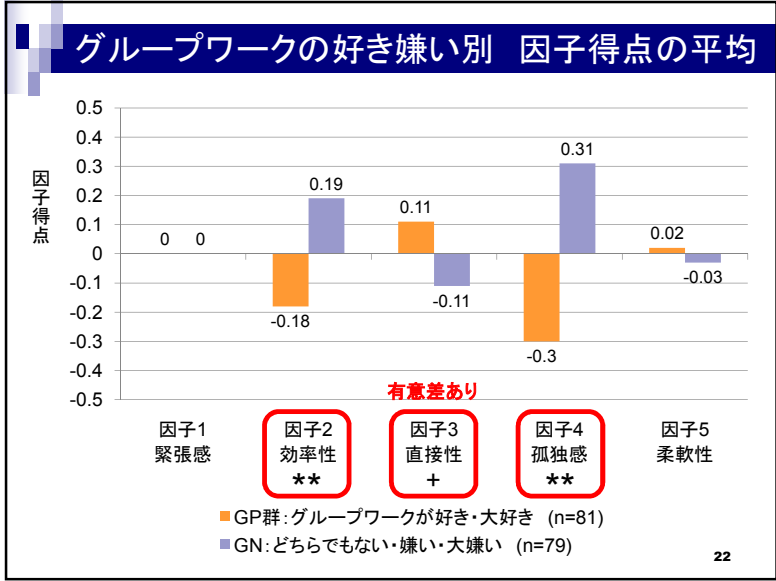
- 緊張感を持って学習するスタイルを身につけてもらう
- eラーニングの効率性・柔軟性を知ってもらう

→ **eラーニングは役に立つ！**

- 直接性を持たせる
- 孤独感を軽減させる

→ **あまり効果がないかも……**

21



### 効率性・直接性・孤独感

グループワークを好む学習者

直接性  
孤独感  
効率性

有意差あり

グループワークを好まない学習者

- グループワークを好む人は、
  - 直接性(人との触れあい)を好む
  - 孤独感を嫌う
  - 学習の効率性を重視しない

→ 有意差があったのは当然の結果

23

### 緊張感・柔軟性

グループワークを好む学習者

緊張感  
柔軟性

有意差なし

グループワークを好まない学習者

- eラーニング受講時の緊張感や柔軟性は、グループワークの好き嫌いとは関係がない  
→ 有意差がなかったのは当然

外的妥当性

24

# 結論



25

## 本研究の概要



eラーニングに向いている学習者、  
向いていない学習者とは、  
どのような学習者なのか？



- 学習者のeラーニング指向性質問紙を作成・実施する
- eラーニングの好き嫌い, グループワークの好き嫌いとの関連を調べる

26

## 結果

- 5因子(緊張感・効率性・直接性・孤独感・柔軟性)を抽出した
- eラーニングを好まない人は, 緊張感を失いがちである
- 大学生は, eラーニングの欠点である直接性の欠如や孤独感をさほど気にしない

27

## 今後の課題

- 調査対象者を増やす
  - eラーニングの通信課程の学生の場合はどうか？
  - 中高年の場合はどうか？
- eラーニング指向性と成績との関連を調べる

28

**ご静聴ありがとうございました。**



29